

QUEST

1

『リア王』の重層性

—視点の分裂について—

西出良郎 (1)

『冬物語』におけるハーマイオニの再生と

ポーライナの結婚

鈴木雅恵 (21)

『ジョナサン・ワイルド』と

フィールディングの語り

近藤直樹 (41)

『西欧の眼の下に』

—裏切りと共同体—

金子幸男 (61)

1987年3月

京都大学大学院英文学研究会

会則

- 1、本会は京都大学大学院英文学研究会と称する。
- 2、本会は会員相互の学問的向上をはかることを目的とし、随時会合を持つ。
- 3、本会は年一回、機関誌『QUEST』を発行する。会員はそれに投稿する資格を有し、その頒布を受ける。
- 4、本会は、京都大学大学院文学研究科英米文学専攻在籍者、同出身者有志、同聴講生有志により構成される。
- 5、会員は会費として年一定額を納める。その金額は会員間の話し合いにより決定する。
- 6、責任者、会計係各一名、および編集者若干名は会務を分担する。その任期は一年とし、選出は会員の互選による。

投稿規定

- 1、投稿は英語学英米文学に関する未発表論文に限る。
- 2、投稿申込締切は毎年9月10日とする。
- 3、原稿締切は翌年1月10日とする。
- 4、投稿は原則として和文に限る(引用は原文でも可)。分量は、本文、註を含め、400字詰横書原稿用紙40枚以内とする。
- 5、投稿者は所定の投稿料を負担するものとし、その金額は会員間の話し合いにより決定する。

後記

大学院生を中心とした同人雑誌の発行がしばらく途絶えていましたが、ここに、『QUEST』第一号をお届け致します。御批評を賜りましたら、有難く存じます。また、創刊の準備に際しては、いろいろな方から助言を頂きました。篤く御礼申し上げます。

さて、雑誌の題が決まるまでには多少の曲折がありました。一旦は『京大英文学研究』としたのですが、それでは固苦しすぎるという意見が出され、投票のやり直し。再考の末、『QUEST』に落ち着いた次第です。

この題は、文学研究に乗り出したばかりの若い学徒にふさわしい生真面目さを伝え、また各論文もそういう性格をよく反映しています。しかし、いささか遊び心に欠ける嫌いが無くもありません。厳粛趣味を吹き飛ばすような、小気味よい論文がいつか書けないものか。

題名の候補の一つに、『加茂川レビュー』というのがありました。粋でよいというものの……と、どこかから三味線の音が聞こえ、その方面の雑誌と勘違いされそうです。それに、力強さが足りない気がします。やはり若いうちは、作品世界とがっぷり四つに組み合わさるのが一番かもしれません。その気負いが深刻癖に結びついたとしても、止むを得ないことではないでしょうか。

とにかく『QUEST』は出帆しました。あとはどこまで旅を続けられるかです。その無事を祈りつつ、皆様方の御支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

(T. N.)

QUEST

第 1 号

1987年 3月21日 発行

発行人 京都大学大学院英文学研究会
京都市左京区吉田本町
京都大学文学部英米文学研究室内

印刷所 京都市左京区田中門前町89
堀井印刷
